

平成28年度大磯町教育委員会第6回定例会議事録

1. 日 時 平成28年9月21日（水）
開会時間 午前9時00分
閉会時間 午前9時55分
2. 場 所 大磯町図書館2階 大会議室
3. 出席者 藤 家 崇 教育長
中 野 泉 教育長職務代理人
青 山 啓 子 委員
曾 田 成 則 委員
濱 名 三代子 委員
岩 本 清 嗣 教育部長
小 島 昇 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
佐 川 和 裕 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
早 崎 薫 生涯学習課図書館長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 森 田 敏 幾 参事（地域総合戦略担当）
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
5. 傍聴者 1名
6. 教育長報告
7. 付議事項
議案第7号 大磯町社会教育委員の委嘱について
8. 協議事項
協議事項第1号 大磯町立図書館サービス計画の策定について
9. 報告事項
報告事項第1号 中学校部活動夏の大会結果について
報告事項第2号 平成28年度人権教育講演会の開催について
報告事項第3号 第63回おおいそ文化祭の開催について
10. その他

(開 会)

教育長) 出席委員が5名で定足数に達しており、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立します。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(平成28年度第5回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成28年度第5回定例会議事録」は、1ページから7ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成28年度第5回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) それでは、8月定例会開催後の平成28年8月18日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

8月19日、本年度も夏休みの放課後子ども教室の企画として、神奈川大学湘南平塚キャンパスにおきまして、27名の子どもたちが「一日大学生」を体験しました。大学教授や大学生に協力してもらいながら、氷や液体窒素を使った実験を行い、参加した子どもたちは楽しみながら学ぶことができました。

同22日、台風9号が接近したことに伴い、教育委員会が中心となり、大磯小学校、大磯中学校、国府小学校、大磯高校の体育館に避難所を開設しました。午前8時30分から午後6時35分までの開設時間に、延べ25名の方が避難されました。

同じく23日、本年度第1回目の総合教育会議が開催され、信頼関係による学校づくりの実現について協議が行なわれました。委員の皆様には、ご出席いただきありがとうございました。

9月1日より第3回9月大磯町議会が開催されています。詳しくは次回の教育委員会定例会でご報告いたします。また、同日、学校・幼稚園では2学期が始まり、全ての学校・園でシェイクアウト訓練を実施しました。

17日から、ここ大磯町立図書館の展示コーナーにおきまして、郷土資料館第3回巡回展を開催しています。内容は、「大磯の災害」パネル展で、10月16日までの開催を予定しています。後ほどご覧いただければと思います。

同じく17日、国府保育園と大磯幼稚園で運動会が開催されました。また同日、大磯中学校で、9月19日には国府中学校で休業日の授業参観が行われました。ご出席いただきました委員の皆様、ありがとうございました。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、8月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要な

ものに関する事、専決した事項に関する事、その他について報告いたします。8月定例会においてご審議いただきました、旧吉田茂邸維持管理事業に係る補正予算が、9月1日に開催されました町議会で承認されましたので、今後計画通りに執行してまいります。報告につきましては、以上でございます。

議案第7号 大磯町社会教育委員の委嘱について

生涯学習課長) 説明資料の1ページをご覧ください。大磯町社会教育委員は、「大磯町社会教育委員に関する条例」に基づき、定員11名、2年の任期で委嘱しています。前任の任期が、平成28年5月31日に満了したことから、新たに委員を委嘱するため教育委員会の承認を求めるものでございます。

議案にお戻りください。今回、提案させていただいた委員の方々は、名簿の選出区分欄にありますように、社会教育関係者3名、学校教育関係者1名、家庭教育の向上を資する活動を行う者2名、学識経験者として3名、さらに公募2名の構成になっております。11名のうち8名が継続で、表の上から2段目の篠原雅博氏、表の下の2段の公募選出区分の小早川鐵郎氏、塩谷廣範氏の3名が新たに社会教育委員をお願いする方であります。なお、任期は、平成28年10月1日から平成30年9月30日までとなります。

説明資料の2ページ目をご覧ください。ここでは大磯町社会教育委員に関する条例の条文と社会教育法における社会教育委員の構成、定数等に関する条文抜粋部分を記載しています。3ページ目は、社会教育委員と公民館運営協議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるにあたって参酌すべき基準である文部科学省令を示しています。4ページ目は、今回の改選前における社会教育委員の名簿でございます。そのうち氏名の左に※印がついております3名が今回退任された方でございます。

質疑応答)

中野委員) 公募は2名来られて、2名採用になりましたか。それとも、ご辞退いただいた方、いらっしゃいますか。

生涯学習課長) 今回の改選に当たりまして、広報並びにホームページを介して公募を行っております。その結果、2名の応募がありまして、担当課におきまして審査をした結果によりまして、この応募された2名について社会教育委員として委嘱をしたいと考えております。

中野委員) わかりました。ありがとうございます。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。まず、議案第7号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第7号「大磯町社会教育委員の委嘱について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

協議事項第1号 大磯町立図書館サービス計画の策定について

図書館長) 大磯町立図書館サービス計画(附)第三次大磯町子ども読書活動推進計画について説明いたします。

図書館ではより一層のサービスの向上や業務の効果的・効率的運営の推進を図るため「大磯町立図書館サービス計画」を5年ごとに作成しています。また、子どもたちがより読書に親しみ、自主的に活動を行うことを目指して「大磯町子ども読書活動推進計画」を5年ごとに作成しています。図書館活動は資料収集、提供と児童サービスが大きな2つの柱です。双方それぞれの機能が共鳴しあって初めて充実した図書館活動が実現できることから、大磯町立図書館サービス計画中に第三次大磯町子ども読書活動推進計画を付帯する形で策定を進めています。

本計画は、第一章「大磯町立図書館サービス計画」、第二章「第三次大磯町子ども読書活動推進計画」の二章構成で、第一章のサービス計画は8節から成りますが、第1節から第5節までは計画策定の趣旨、現状と課題、指標について記しています。第6節については個別の具体的な施策、第7節は計画の目標、第8節は図書館運営の視点となる項目について特記しています。

次に第2章の子ども読書活動推進計画は5節から成り、第1節から第3節までは子ども読書活動をめぐる動向、成果と課題、基本的な考え方、第4節は重点施策と具体的取組みについて記しています。第5節は進行管理と評価についてを明記しています。

それでは、計画の概要についてご説明いたします。資料の大磯町立図書館サービス計画(案)の2頁、3頁をご覧ください。計画策定の趣旨といたしましては、「大磯町立図書館サービス計画H23-H27」の終了に伴い、新たに5カ年の計画を策定するもので、同じく5年毎に策定している「大磯町子ども読書活動推進計画」を附帯する形で策定するものです。計画の位置づけとしましては、「知力」「体力」「共感力」の3つの力を基本目標に掲げた「大磯町教育大綱」と、ゆとりを育む生涯学習の推進と地域に根ざした文化の継承と、新たな文化の創造を基本目標に掲げた「大磯町生涯学習推進計画」のもとに位置づけられ、また、少子化の進行や待機児童の増加など家庭や地域の子育てをめぐる環境の変化が指摘され、子育てを社会全体で支援していくことの必要性から策定された「子ども笑顔かがやきプラン」などで、図書館の果たす役割がますます重要になっていくことから、多様な社会情勢を鑑みて、様々な計画との整合性をもって図書館サービス計画を策定するものです。

次に計画の期間は平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

4頁をご覧ください。図書館サービス計画の現状と課題について登録率、貸出点数、図書回転率の統計資料を用いて現状の分析と課題について記載しております。

5頁は、基本方針として、乳幼児からお年寄りまで、あらゆる世代が豊かな心を養えるよう、町民の活動の拠点となる「町民の書齋としての図書館」を目指し、基本目標として、3点を定めました。1点目は地域の情報発信拠点として役立つ図書館として資料や情報を利用者と有機的に結びつけることにより、町民の生涯学習活動を支援します。2点目は次代を担う子どもを育む図書館として第三次大磯町子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが自主的に読書に親しむことのできる環境づくりを進めます。3点目は地域まちづくりに貢献する図書館として郷土・地域資料を整備して有効活用を図り、

町民に学習の場を提供します。

5頁の後半から11頁は、3つの基本目標ごとの具体的な施策の記述になります。また、3つの基本目標ごとに総括表を附しています。

12頁は計画の目標指標の設定、進行管理、評価の公表について定めております。

13頁から15頁は、サービス計画の基本目標をもとにした具体的な施策を実施していくにあたって、特に留意すべき視点として、図書館協議会、図書館ボランティア、施設の維持管理、危機管理、広報、管理運営についての検討、公立図書館の役割の認識について記しております。

以上がサービス計画の概要で、16頁からは第2章の第三次大磯町子ども読書推進計画の記述になります。最初に第1節は子ども読書活動をめぐる動向として、国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定以降の動きとそれを受けた神奈川県「かながわ読書のススメ」の策定状況について記しています。第2節は第二次計画の成果と課題について記し、成果としては、学校図書館との連携推進、学校図書館の電算化の推進などをあげ、今後の課題としては、町立図書館と学校図書館とのネットワーク化の具体的な検討や、平成27年度から作成した読書通帳の活用などをあげています。

17頁は第三次計画の基本的な考え方として、その目的、基本方針について記し、方向性として子ども読書活動の重要性の啓発推進、町立図書館と学校図書館の連携推進、学校図書館の整備の推進を掲げています。

18頁から22頁は、家庭・地域、小中学校、図書館、子育て支援総合センター、文庫活動、NPO、図書館関係団体の8つに大きく分けて、全体で35項目について重点施策と具体的取組を設定しています。

22頁から25頁の表は重点施策と具体的取組をまとめた総括表になっております。

25頁の最後は進行管理と評価を実施して公表していく手順についてまとめたものです。

以上が大磯町立図書館サービス計画（附）第三次大磯町子ども読書活動推進計画についての概要の説明になります。なお、本文とそれに附随する総括表の中で太文字とアンダーラインの引かれた部分につきましては、今年度4月の事務連絡調整会議にてお示しした（案）に、それ以降、町理事者と町部局の幹部からの意見をもとに、町の第四次総合計画後期基本計画に基づく新たな事業等の記載を追加したものです。ご協議をよろしくお願いいたします。

質疑応答)

中野委員) 幾つかあるのですが、まず5ページの貸出点数の推移を見たところ、児童書が意外に伸びていて、ほかは割と減っている傾向にある中、児童書だけが伸びているのに目が付きまして。これは大磯の図書館の特色にしてもいいのかなと思いました。というのは、いろんな公共図書館を見せていただいたのですが、やはり特色を出している図書館というのがありまして、例えば橋本は、立地がいいというのものもあるんですけども、小学校の高学年から高校生ぐらいの子どもたちが、自分が書いた漫画とかストーリーを掲示板みたいなところに展示して、それを見に来た人がそこにコメントを書いたりというような交流が見られて、それを特徴にしているようなところがありました。大磯町も何かそういう特色があったらいいのではないかなと思いました。

図書館長) 貸出点数の推移でございますが、全体としましては、実は24年度から25年度が減少しております、その後、26年度に若干回復傾向を見せております。それで、27年度につきましても同様に推移しております。26年度よりも貸出点数が若干少なくなっておりますが、これは開館日数がコンピューターの更新の関係で少なくなった関係ですので、全体の貸出傾向としてはやや回復傾向を保っております。

その中で児童書の貸出点数が増加しているのは、やはり子供の読書活動推進計画を推進しているということで、委員がおっしゃられましたように、大磯図書館でも読書通帳の導入とか、あとはスタンプラリーカードの導入とかで、子どもたちに本の感想とかを一言書いてもらうようにしております。また、今度新たな計画の中でも、私のお薦めということで、本の感想とかコメント、そういったものを子どもたちから募集して展示していくとか、そういったことで、またより一層の読書の推進を深めていきたいと考えております。

青山委員) 全体に見せていただくと、話が順序立てて進められていて、前半もその内容について、今度は表で数字として示すということで、この計画がより理解しやすく構成されているかなという感想でおります。

特に子どもの読書活動について、16ページ目、「第二次計画の成果と課題」というところの最初のあたりに、町立図書館と学校図書館の連携、それから、学校図書館の整備推進、その後に子どもの読書活動の重要性の啓発という、3つが掲げられていますけれども、隣の17ページの第三次計画の「方向性」のところ、同じ内容で、最初に、子どもの読書活動の重要性の啓発というのが最初に出てきているということで、やはり幼いうちから読書に親しむような施策を展開したいんだということが強く伝わってくる置き方かなと感じました。

今の子どもたちを見ると、スマホやパソコンや、あるいはゲームという、幼いころ本を読み聞かせていても、そういうものに触れ出すと読書から離れていく時期が今の子どもたちにはあるかと思うのですけれども、乳幼児期から読み聞かせをしたり、図書館や本に親しませるということで、ある時期ゲームとかが原因で離れていっても、またそれを過ぎると本を通じて学習したり、あるいは何か楽しみを見出すということにつながると思うのです。そういう意味で、小さいころからの子どもたちへの読書の推進や、あるいはその保護者への推進というのを進めていく施策が大事なかなと思います。保護者よりもっと前の段階で、お腹にいるころから親御さんたちにも読書の大切さというのを伝える機会があったら、またプラスアルファでいいのではないかなということを感じました。

図書館長) 子どもの読書活動の推進の中で、その重要性の啓発ということで、乳幼児から中学生まで、各年齢層に合わせた事業を、図書館と学校図書館、社会教育施設、あとはボランティアとか各種団体、地域と協力しながら進めております。さらに乳幼児の前の段階として、子育て世代の支援ということで、今回、計画の中に盛り込ませていただきましたけれども、子育て支援のコーナーの充実、育児関係の書籍の充実とか、それと関連して同じスペースに乳幼児向けの絵本を今でも展示してありますが、それをさらに充実させていく、そういったことを盛り込んでおります。そういったことでますます利用が増えていくように、そういう取り組みを進めたいと考えております。

曾田委員) 平成27年度の貸出点数の目標が20万点ということで、先ほど、実績でいきますと、工事等いろいろあったので数字が少し低いのだという話を聞きま

した。ああ、そういえばそういうことがあったなということで確認はしておりますけれども、ことしの目標はどのくらいを立てておられましたでしょうか。

図書館長) 図書館としましては、貸出点数20万冊、それと連動して図書の回転率、1冊の本が1年間にどのくらい回転し借りられたかという、そういったものを連動させて考えております。今のところ貸出点数については18万冊代後半。あと回転率、これがどうもなかなか向上しないのですが、それが今ですと、数値的には0.7となります。1年間に蔵書が例えば20万冊あったとすると、その本が0.7回回転したという、そういう数値になっておりますが、それを何とか1.0に近づけて、貸出点数自体も20万冊に上げるといふ、そういったことを目指していきたいと思っております。

それにはいろいろ、やはりまず図書館に来館していただくことが必要になりますので、各種行事とか資料提供、情報提供、そういったことを活発に行って、貸出点数の増加と回転率のアップにつなげていきたいと考えております。

曾田委員) では、続いてお願いします。今、小学校の話、中学校もそうですけれども、図書館を抱えて、それで、まちのこういう図書館もあるという中での利用の問題ですけれども、どの年齢が一番期日に返さない人が多いですか。今、回転率の話が出たので。例えば子どもたちはそんなに抱えていないと思うのです。大人のほうが多いのでしょうか。

図書館長) 余り細かくは分析しておりませんが、傾向としましては、やはり子どもに比べ大人の方の返却期限が遅くなっているような傾向があるように思います。その返却期限が遅くなることで回転率が下がってくるという、そういった影響も出ているのではないかと思います。このため、情報提供とかいろいろな行事の開催などで、来館者を増やすということも目標に掲げておりますが、図書館の実務としては、督促等をやっていくことが基本的に必要になってくると思います。

曾田委員) 大変ご苦労が多いと思っておりますけれども、返さない期間は最長どのくらいになるのでしょうか。

図書館長) 未返却で、結局もう回収できなくて処理をしてしまう、そういったものも年に何十冊かあるような状況です。年に4回ほど督促状を出して督促はしておりますけれども、なかなか全部の本を回収するのは難しいという状況です。

曾田委員) それから、借りた本のどこかのページが切られたり、抜けたりしているようなことは、率が多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

図書館長) 中にはそういった汚破損の本もございます。図書館では、図書館まつりとかでそういった汚破損、書き込みがあったりとか、切り取りがあったりとか、そういった本を展示して啓発している状況でございます。

中野委員) 今の委員の質問に関連して、AV資料がやはりちょっと音が悪かったりとか、あとケースが割れていたりというのを見たことがあります。貸出件数を見てもAV資料が余り伸びていないのを見て、やはり新しいのが少ないのかなとか、音とか映像が悪くてというのがあるのかなという気がしました。それが1点です。

もう1点は、22ページの図書館関連団体というところで東光院さんのお話が出ていますのですが、東光院さん、暁空(ぎょうくう)さんがずっと昔から随分お話会とか読み聞かせとか、そういうのをやってくださっているのを

私も知っていて、お誘いを受けたりとかもしています。これは東光院さん主体でやっていることなのですからけれども、図書館主体でまちなか図書館というのもできるのかなという話をさせていただきたいと思います。この近隣ではカフェとかありますので、そこにちょっと本を置かせてもらって貸出を増やすということもできるのかなと思いました。

図書館長) 視聴覚資料につきましては、やはり資料費全体が限られていることもありまして、十分な購入点数とは言えませんが、27年度からになります。毎月テーマを職員のほうで決めまして、CDの展示貸出を行っております。それで若干貸出点数が上向いてきている傾向にあります。今後は、高齢者向けの朗読のCDとか、そういったものも力を入れていきたいと思っております。

あと、まちなか図書館については、長野県の小布施図書館とか、そういったところで実施されているということで、大磯町でもそういった事例を研究してまいりたいと思っております。

濱名委員) 大磯町立図書館の歴史であったり、問題点、課題、これからの目標とかも書かれていて、非常にわかりやすいものだと思います。小さいエリアなのですが、小学校、中学校に学校司書さんが置かれて、そこに子どもたちが非常に集って、子どもたちの中で小学校の図書館、中学校の図書館というところが非常に癒しの場になっているというふうな話を聞きますので、非常によくなっているところを見ますと、この大磯町立図書館が町民の癒しの場となって、たくさんの来館者が来るといいなど、そういうような感想を持ちました。まずは私から行かなくちゃいけないなとも思います。

図書館長) 今の委員のご発言に関連しまして、図書館でも今後、多世代の交流の場として図書館の利用を広めていく、そういったことも盛り込んでおりますので、地域の癒しの場として今後も活動を展開していきたいと思っております。

報告事項第1号 中学校部活動夏の大会結果について

学校教育課副課長) 報告事項第1号、中学校部活動夏の大会結果についてご報告申し上げます。

今年はソフトテニス女子個人の全国大会への出場もあり、また、どの部活動も日頃からの練習の成果を発揮し、ベストを尽くしました。

それでは、資料に沿って、県大会以上の結果について報告いたします。資料表紙をめくっていただき、左の資料1が大磯中学校、右の資料2が国府中学校、それぞれ上の表が団体の部、下の表が個人の部となっています。

まず、関東大会へ出場した個人・団体です。

初めにソフトテニスです。資料1、大磯中学校下の表の個人ですが、大磯中学校の男子2ペア・女子1ペアが県大会で好成績を収め、関東大会に出場しました。関東大会では、男子の2ペアがそれぞれ3回戦・1回戦で敗退しましたが、県大会で優勝した女子のペアはベスト16、第9位に入り、石川県で行われた全国大会に出場しました。結果は初戦敗退でした。また、資料2、下の表の国府中学校の個人男子1ペアが県大会で準優勝し、関東大会に出場しました。関東大会では、2回戦敗退という結果でした。

国府中学校の上の表、団体では、国府中学校の男子団体が県で3位となり、

関東大会に出場し、2回戦敗退となりました。

資料1の上の表、大磯中学校の男子団体も県大会で3位、関東大会に出場し、関東でもベスト8に入りました。女子の団体も県大会では2位で、関東大会に出場、2回戦敗退という結果でした。

次に、水泳競技です。資料1の下の表、大磯中学校の女子生徒が、県大会の女子100m・200m平泳ぎで好成績を収め、関東大会に出場しました。関東大会では、女子200m平泳ぎで17位、女子100m平泳ぎで26位、という結果でした。関東・全国大会関係の出場は、以上です。

つづいて、県大会へ出場 of 団体・個人の報告です。

団体では、資料1の下の表、大磯中学校の柔道男子個人2名が県大会に出場して2回戦敗退、卓球男子個人1名が県大会に出場し初戦敗退となりました。資料2の下の表、国府中学校も柔道男子個人1名が県でベスト8に入り、卓球女子個人2名も県大会に出場し、一人は初戦敗退でしたが、1名は、県のベスト32に入っております。上の表、卓球女子団体は中ブロックで3位となり、県大会に出場して初戦敗退でした。

また、資料2の下の表の一番下にもありますが、10月8日には陸上競技で、国府中学校の女子1名が200mで県大会へ出場の予定です。

次に、吹奏楽コンクールです。国府中学校が県大会で「銅賞」という結果でした。

また、演劇部ですが、資料1の大磯中学校の演劇部が神奈川県中学校創作劇発表会で「演劇専門部会長賞」という結果が出ております。

関東大会及び県大会への上場報告は以上になりますが、生徒の努力の積みあげを称えるとともに、指導に当たってきた顧問の教員、地域指導者の皆さん、保護者の皆さんの献身的な支援、協力によって得られた結果であると考えています。中学校部活動、夏の大会結果の報告は以上です。

質疑応答)

中野委員) 大磯中学校で行われた地域懇談会で、部活動についての先生方のお話ですとか、子どもたちと話し合いをしてまいりました。今回、いい成績をおさめた生徒の1人の話なんですけれども、「支えてくださった先生方や地域の方々、保護者のみんなに恩返しをするためにも、いい成績を残さなきゃいけないという気持ちで臨みました」という、すごく立派なコメントを聞きました。やはりこれから多忙を極める先生方と一緒にあって、地域の人もどうやって部活を支えていかなければいけないかということも、委員会のほうで持ち帰って話し合う機会を持ちたいなと思います。

学校教育課副課長) ご意見ありがとうございます。部活動に関しましては、これからは教育委員会のほうでも考えていきたいと思っております。

濱名委員) 私も先日の地区懇談会に出席しまして、顧問の先生方の休みを返上した努力であるとか、保護者の方たちの思い、また、頑張っている生徒の話も聞きまして、その結果がしっかりとあらわれているものだと思います。

私が質問したいのは成績の表記の仕方なんですけれども、第5位というのは、ベスト8のことなのか、先ほど関東大会ベスト16で第9位というふうな、ソフ

トテニスの人で言い方があったのですが、これはベスト16の中でも順位決めがあって9位になっているのか、ちょっとそこがわかりづらいと思います。柔道大会のベスト8に上がった子が、ベスト8と書かれているのをちょっと見たんですけれども、うちの娘も同じ大会で5位の賞状をもらって帰ってきたので、恐らく彼の賞状も5位となっていると思うんです。この表記の仕方がよくわからないと思ったので、そろえたほうがいいのでは、と思います。

学校教育課副課長) すみません、少々わかりにくい表記だったと思いますが、委員のおっしゃったように、これはベスト16に入った中で順位決めが行われているということで、その中で9位になったということですので、先ほどの説明ではベスト16、第9位という説明をさせていただきました。

報告事項第2号 平成28年度人権教育講演会の開催について

生涯学習課長) 資料の裏面をご覧ください。人権教育講演会は、人権が尊重される社会の実現のため、人権に対する正しい理解と認識を深めることを目的に毎年開催しています。主催は大磯町と大磯町教育委員会、担当課である福祉課と生涯学習課の共催事業という位置付けになっています。開催日時は11月7日(月)、午後2時から4時、保健センター2階の研修室で開催をいたします。

本年度の講師は、作家ならびに絵本作家の入江杏さんをお願いをいたしました。入江さんは、殺人事件、一般に世田谷事件と呼ばれる事件によって突然妹さん一家を失うという経験をされた方で、深い悲しみに向き合う中でどのように生きる意味をつかんだのか、自らの体験をもとにお話をしてくださる予定です。自分や他の人の悲しみとどう向き合うか、また、犯罪被害やその家族の人権についてなど、一緒に考えてみたいと思います。

この人権教育講演会は、毎年恒例の事業となっていて、大磯町内在住者、在勤者すべての方を対象としています。町広報10月号やホームページで参加を呼びかけるほか、町内の施設、会社、さまざまな機関に積極的な参加を呼びかけてまいります。なお、参考資料としてチラシの案をつけておりますのでご参照下さい。

質疑応答) なし

報告事項第3号 第63回おおいそ文化祭の開催について

生涯学習課長) 本年、63回目を迎えますおおいそ文化祭は、概ね10月22日(土)から11月13日(日)までの期間内におきまして、町内各会場で開催をいたします。主催は第63回おおいそ文化祭運営委員会および町と町教育委員会、共催は大磯町区長連絡協議会、さらに大磯町文化団体連盟から協力名義をいただいております。

大まかなスケジュールとしては、10月22日(土)の午前9時30分から、

生涯学習館におきましてオープニングセレモニーを開催します。続いて同所では、22日（土）、23日（日）の2日間にわたって団体参加による発表部門の発表、および一部、団体による展示が行なわれます。また、生涯学習館では、昨年に引き続き、今年もゲストをお呼びして盛り上げていこうと考えております。

保健センターと図書館では、22日（土）と23日（日）の2日間にわたって、団体参加による展示部門の展示を開催いたします。

嶋立庵では、大磯町茶道協会によるお茶会が23日（日）に開催されます。嶋立庵でのお茶会開催は、5年目になります。

国府支所では、大磯囲碁クラブによる囲碁大会が同じく23日（日）に開催されることになっております。

今年度、郷土資料館では11月3日からリニューアルオープンをする予定となっているため、資料館の会場はオープン以降に開催することにしております。11月3日には湘南ハワイアン愛好会のつどいを郷土資料館前の園庭で開催します。また、11月3日～12月18日までリニューアル記念展を文化祭協賛行事として位置づけて行います。11月4日（金）～6日（日）にかけては団体に参加していない個人を対象とした「おおいそ美術展」を開催します。また、11月13日（日）には、文化団体連盟が文化講演会を開催することになっております。

なお、昨年と同様、団体展示会場の一角では、通常の体験コーナーを設けるほか、多くの方々に、できるだけ会場を巡って参観していただきたくことを目的とした、スタンプラリーの開催も例年と同様に予定しております。

また、資料のその他のところを見ていただきたいと思います。今年の特徴として、町内2つのギャラリーの参加をいただきました。高麗のサロンドアユ、世代工房にご参加いただくほか、高麗の善福寺の国指定重要文化財と県指定重要文化財を特別公開していただきます。また、中丸の西長院の町指定文化財の特別公開も例年どおり開催いたします。これにより、特に高麗地区では、メイン会場の生涯学習館とその周辺を回遊していただくことにつながりたいという試みです。

なお、今年も昼食をとるのに場所的に不便な生涯学習館においては、ご賛同をいただいた店舗によりパンと飲み物などを販売していただくことで検討しています。

また、地区の主催による文化祭が、10月22日（土）から11月7日（日）までの期間内で各地区会場にて行なわれます。

周知方法としては、町広報10月号のほか、10月号広報とともに全戸配布するプログラム、また、ポスター、ホームページなどを媒体として周知してまいります。

質疑応答) なし

(その他)

事務局) 次回の定例会は、10月20日(木)、午前9時から、大磯町役場本庁4階第1会議室で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成28年度大磯町教育委員会第6回定例会を閉会いたします。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成28年10月20日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____